



クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞

広告会社のクリエイティブティへの期待は、新たなクリエイターの出現によって加速してきました。

変化する社会やブランドの課題解決のために、広告会社の機能は、より深く、より広く進化を求められ、クリエイターの役割もまた、急速に拡大を続けています。
変化の時代においては、突出するクリエイターがインベンターとなって課題解決を実現することでブランドはコモディティ化から離脱する道を拓くことができる。
クリエイティブティが広告会社のエンジンとなることで、ブランド、産業の成長への貢献につながっていく。そう信じています。

クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞は、
広告会社の機能を拡張するクリエイティブティの重要性にフォーカスし、
その年を代表する広告会社の優秀なクリエイターを選出・贈賞することで
広く社会に広告会社のクリエイティブティをアピールすることを目的とします。

クリエイティブティを発揮し課題を解決する施策の実施までを牽引して、
広告会社の価値向上や機能拡張につながるクリエイティブワークを
一年間、複数生み出したクリエイターをご推薦ください。
過去一年間の広告コミュニケーション、施策実施に基づいて評価・表彰いたします。

【審査基準】

- 広告会社の価値向上につながる以下が優れていること。
- ・課題解決のアイデア
 - ・クリエイティブのレベルを引き上げるクオリティ
 - ・クリエイティブの領域の拡張性

賞

CREATOR OF THE YEAR 1名

CREATOR OF THE YEAR MEDALIST 10名前後

[MEDALIST内から、CREATOR OF THE YEARに準ずるものを審査委員特別賞として、若干名選出することもある。]

※クリエイター・オブ・ザ・イヤー、メダリスト受賞者の表彰は2023年度定時総会表彰式を予定。

審査委員 一般社団法人 日本広告業協会クリエイティブ委員会委員

敬称略・順不同
2022年12月現在

委員長 能登 健裕 (東急エージェンシー マーケティング DX本部 第1統合ソリューション局局长補佐)

委員 松井 亘平 (I&S BBDO 執行役員エグゼクティブクリエイティブディレクター)
山極 和弘 (朝日広告社 クリエイティブ 局局长兼クリエイティブ 第1部部長)
森川 晴久 (ADKクリエイティブ・ワン クリエイティブ 本部シニアクリエイティブディレクター)
石塚 千弥 (クオラス コミュニケーションデザイン本部クリエイティブ 局局长)
多賀谷昌徳 (グレイワールドワイド CCO/Executive Creative Director)
浅井 芳樹 (三晃社 取締役クリエイティブ 局局长)
長谷川羊介 (ジェイアール東日本企画 上級執行役員クリエイティブ 局局长)
石井 智 (第一通信社 執行役員)
濱 弘幸 (大広WEDO 代表取締役社長執行役員)
松尾 秀実 (電通 執行役員)
笠 辰一郎 (日本経済社 執行役員クリエイティブ 局局长)
藤井 久 (博報堂 取締役常務執行役員/MDXユニット長)
中村猪佐武 (マッキンゼーエリクソン 取締役制作本部長エグゼクティブクリエイティブディレクター)
岩渕 英介 (読売広告社 クリエイティブセンター エグゼクティブクリエイティブディレクター)
新沢 崇幸 (Wunderman Thompson Tokyo Chief Creative Officer)

第34回 2022年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞

応募方法

応募資格 日本広告業協会会員社の社員。

対象期間 2022年1月1日から12月31日までの1年間の広告コミュニケーション。

応募人数 会員社1社につき2名以内とします。

応募方法 日本広告業協会会員社各社で社内選考の後、代表者の推薦により以下の4点を事務局に提出してください。

(1)2022年 クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞推薦用紙の出力見本1枚(A3・カラー)

(2)プロフィール記入用紙の出力見本1枚(A4・カラー)

(3) (1)、(2)を収録したCD-RまたはDVD-R (4)DVD-R(動画)1枚

(1) 推薦用紙について

- ・推薦用紙フォーマットのデータは、協会ホームページ(<https://www.jaaa.ne.jp>)から、ダウンロードしてください。イラストレーター(MAC)の形式で提示してあります。
- ・推薦用紙は1名につき1枚とします。各自でプリントアウト(A3・カラー)してご提出ください。
- ・クリエイティブワーク名及び作品例は、所定の枠内に納まるようにイラストレーター・ソフトを使用して作成してください。
- ・推薦人の名前は、社の代表者(例;社長)とします。
- ・プリントアウトした推薦用紙(出力見本)に、推薦人の捺印をしてご提出ください。捺印が難しい場合、デジタルサインでも受付可能です。

(2) プロフィール記入用紙について

- ・プロフィール記入用紙のフォーマットのデータは、協会ホームページ(<https://www.jaaa.ne.jp>)から、ダウンロードしてください。イラストレーター(MAC)の形式で提示してあります。
- ・プロフィール記入用紙は1名につき1枚とします。各自でプリントアウト(A4・カラー)してご提出ください。
- ・プロフィール記入用紙の応募者・顔写真のデータは、JPEGデータ(解像度350dpi以上)で、貼り付けてください。各媒体への発表資料とさせていただきます。ご了承ください。

(3) CD-R (DVD-R) について

- ・CD-R (DVD-R) は1名につき1枚とします。各自で上記、(1) 推薦用紙データと(2) プロフィール記入用紙データを収納保存してご提出ください。
- ・推薦用紙データは、イラストレーター(MAC)データで、アウトライン済みのデータと、アウトラインしていないデータの2種類を収納保存してください。
- ・推薦用紙データは、後述する冊子を作成するために使用します。そのため、アウトライン済とアウトラインしていないもの2種類が、必要となります。
- ・CD-R (DVD-R) には表面にマジックなどで、会社名と応募者氏名を記入してください。

(4) DVD-R (動画)

- ・推薦用紙に貼付した広告作品について、応募者の広告コミュニケーション活動を表現したDVD-R(動画・画面比率16:9)をご提出ください。収録作品の扉に、その広告作品がどんなカテゴリーに属するのか、明記してください。また、ファイル形式はMP4(.mp4)、MOV(.mov)などをお願いいたします。収録時間は合計で最大4分以内とします(作品の扉なども収録時間に含めます)。クリエイティブワークはわかりやすく構成してください。

※全てのご提出いただいたものは、返却いたしません。下記冊子ならびに協会ホームページ等に掲載させていただきます。ご了承ください。

※全応募者の氏名・顔写真・プロフィール・応募作品などを収録した「2022年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集」冊子を作成し配布いたします。ご応募の方は、冊子に掲載されることをご了承ください。

応募締切 2023年1月31日(火)必着

提出先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル8階

一般社団法人日本広告業協会 クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞事務局

問い合わせ先 事務局 小田・堀(電話03-5568-0876 oda@jaaa.ne.jp・hori@jaaa.ne.jp)